

「プラズマ医療科学の創成」 第1回公開シンポジウム

主催 新学術領域研究「プラズマ医療科学の創成」総括班

<http://plasmamed.jp>

協賛 応用物理学会、日本物理学会、プラズマ核融合学会、静電気学会、
日本化学会、日本生化学会、日本高分子学会、
日本癌治療学会、日本脳腫瘍病理学会、日本脳神経外科学会、日本透析医学会、
日本防菌防黴学会、日本酸化ストレス学会、日本機械学会、日本航空宇宙学会、
日本微量元素学会、日本コンピューター外科学会、日本産業衛生学会

後援 日本病理学会、日本癌学会、日本医療機器学会、放射線影響学会

プラズマ医療

日時・会場

2012年 9/29（土）

13:00～17:00

弘済会館・4階・会議室「蘭」

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-1

<http://www.kousaikai.or.jp/kousai/access.html>

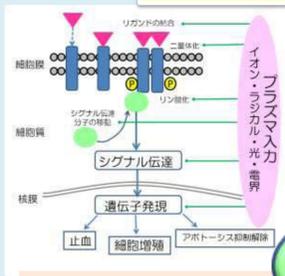
（四ツ谷駅、麹町駅下車徒歩5分）

参加費：無料 懇親会費：4,000円

お申込み：<http://plasmamed.jp/plasma>

（<http://plasmamed.jp>）

分子生物学



シグナル伝達制御

分子

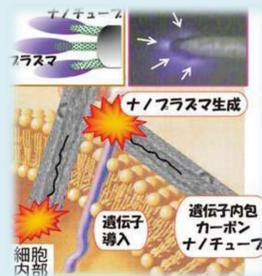
臨床医学



前臨床

生体

細胞生物学



遺伝子発現制御

細胞

毒性学



安全性評価

組織



止血・創傷治癒

癌細胞増殖制御

開催趣旨

プラズマ照射による、がん細胞のアポトーシス（細胞死）誘起、皮膚疾患や傷病組織の治癒や再生に関する極めて有為な効果が示され、プラズマの医療応用に関する戦略的な研究が、世界的に急速に勃興している。プラズマの医療応用には、相互作用の本質を決定する「プラズマで生成される活性な粒子と生体組織の反応」を粒子パラメーターや分子レベルから捉えて、プラズマの生体組織への影響を理解し、相互作用を定量的に解明し、新学術領域として体系化することが不可欠である。このような背景の下、プラズマ【活性粒子（ラジカル、イオン、電子、光）の集合体】と生体分子ならびに生命組織との相互作用に関する学術基盤の確立を目的として、本年度より、科学研究費補助金新学術領域研究『プラズマ医療科学の創成』が発足した。本シンポジウムでは、当該領域における最新の成果を紹介するとともに、将来の新しい医療産業と健康安全社会の創出に向けたライフイノベーションについて議論する機会を提供するものである。また本年度より開始される「公募研究」の募集概要説明を行う。

プログラム

- 13:00 ご挨拶および領域全体の説明
領域代表者・堀勝（名古屋大）「プラズマ医療科学の創成に関する総括研究」
- 13:20 研究代表者による学術講演
 - A01班 プラズマを作る・診る「医療プラズマエレクトロニクス」
堀勝（名古屋大） 「プラズマ医療のための気相・表界面反応ダイナミクスの計測と体系化」
節原 裕一（大阪大） 「高度時空間制御による生体適合放電生成の基盤確立と革新的医療プラズマ源の創成」
金子 俊郎（東北大） 「ナノプラズマ制御技術の創成と局所照射による生体機能制御」
 - A02班 プラズマを使う「プラズマ分子生物学」
水野 彰（豊橋技術科学大） 「プラズマと生体ユニットとの原子・分子動的相互作用の解明」
池原 譲（産総研） 「医療用マイルドプラズマによる創傷治癒の確立とプラズマ-組織細胞相互作用の解明」
清水 伸幸（東京大） 「分子生物学的解析に基づくプラズマ誘起細胞増殖・腫瘍細胞死誘起メカニズムの体系化」
 - A03班 プラズマの安全性「プラズマ臨床科学」
吉川 史隆（名古屋大） 「プラズマ医療科学の臨床応用論的学術基盤の構築と体系化」
田中 昭代（九州大） 「プラズマ・ナノマテリアル動態学の創成と安全安心医療科学の構築」
平田 孝道（東京都市大） 「プラズマによる細胞/組織の活性化・改質及び再生医療への応用展開」
- 16:40 全体討議・公募研究の概要説明
- 17:00 懇親会 ※同館・4階・「椿」

お問い合わせ

E mail: secretariat@plasmamed.jp

Tel & Fax: 052-788-6077

<http://plasmamed.jp>